



**Watcher Pro3**  
**葉面温度センサー3/NBI-SSLFT0102**  
**ユーザーマニュアル**  
**V1.0.0**

## 更新履歴

バージョン	修正時期	説明
V1.0.0	2021.05.24	初稿

## はじめに

使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。

本書の操作手順および注意事項をお守りください。

機器が故障した場合は、ご自身で修理せず [support@techsor.co.jp](mailto:support@techsor.co.jp)にお問い合わせください。

## 目 次

1.製品紹介 .....	4
2.製品仕様 .....	4
2.1 仕様.....	4
2.2 サイズ.....	4
2.3 製品外観.....	4
2.4 各部説明.....	5
3.使用方法 .....	5
3.1 取り付け .....	5
3.2 電気接続.....	5
4.メンテナンス.....	6
4.1 メンテナンス.....	6
5.注意事項 .....	6
6.問題と解決策.....	6

## 1.製品紹介

NBI 葉面温度センサーは、植物の葉面温度の変化を測定・監視するためのセンサーで、温室や畑などの環境下で作物の葉面温度を正確に測定することができます。RS485 インターフェースを備えているので、NBI Watcher Pro 3 や他のシリーズのワイヤレス環境モニタリング製品と一緒に使用することができ、管理プラットフォーム上で作物の葉面環境の変化を明確に把握し、対応する調整を時間内に行うことができます。

NBI 葉面温度センサーには、以下のような機能的特徴があります。

- 温室や畑などの環境下で長時間安定して働くことができます。
- リアルタイムでの温度監視機能により、様々な植物の葉の温度を測定することができます。
- コストパフォーマンスに優れ、耐腐食性があり、様々な形状の葉の温度測定に適しています。

## 2.製品仕様

### 2.1 仕様

型番	NBI-SSLFT0102
出力信号	RS485
測定範囲	-55~125℃
精度	±0.2℃
応答時間	<50ms
安定時間	電源投入後 1 秒
温度測定面積	25mm*50mm
防塵/防水	IP68
ケーブル長	2m (別売の延長ケーブル使用で延長可能)

### 2.2 サイズ

### 2.3 製品外観



## 2.4 各部説明



## 3.使用方法

### 3.1 取り付け

温室に、植物の枝に吊るすことができ、センサーのプローブを葉面／基底面に完全に密着させたまま、操作ミスを減らし、測定精度を向上させることができます。

注：プローブの損傷を避けるため、石や硬い土壌ブロックにプローブを挿入しようとししないでください。センサーを取り付ける際には、防水コネクターのインターフェースが乾いていることを確認してください。

### 3.2 電気接続

取り付け後、センサーコネクタが乾燥してきれいになっているかどうかを確認し、汚れやゴミが詰まっている場合は、乾いた柔らかい布で拭いて、ブロードライしてからご使用ください。

なお、NBI 葉面温度センサーは、NBI Watcher Pro 3 や他のシリーズのワイヤレス水質監視製品と一緒にしか使用できません。製品によって対応するインターフェースは以下の表の通りです。

ノード	インターフェース
Watcher Pro 3	A1、A2、A3、B
センサー拡張ボックス	1、2、3、4、5

NBI 葉面温度センサーのコネクタを上表のインターフェースに直接接続してください。ご使用の際は、まず電源を切り、インターフェースの防水キャップを緩め、センサーコネクタを合わせて挿入し、時計回りに締め付けてください。なお、センサーインターフェースとコネクタは設置方向が決まっているので、アクセスする前に位置合わせをする必要があります。誤った位置や方向に接続すると、センサーやノードが破損する恐れがありますので、ご注意ください。

より詳細な情報は、各製品のユーザーマニュアルをご参照ください。

## 4.メンテナンス

### 4.1 メンテナンス

メンテナンス	内容	サイクル
ケーブル	通常の操作時にケーブルが張っていないこと 破れや曲がりがないかを確認してください。	月 1 回
測定部	汚れが付着しないようにホコリやゴミを取り除きます。	月 1 回

## 5.注意事項

- ① NBI 葉面温度センサーは、NBI Watcher Pro 3 などのシリーズのワイヤレス環境モニタリング製品とのみ使用してください。他社製品との併用は、センサーの故障の原因となりますのでおやめください。
- ② 過酷な環境下では使用しないでください。
- ③ 設置場所は、化学的に腐食しやすい環境から離れた場所にしてください。
- ④ 配線時には必ず電源を切り、電気を使った操作をしないでください。
- ⑤ センサーと配線は高電圧、熱源などから遠ざけてください。
- ⑥ センサーの部品を自分で分解しないでください。センサーの故障や破損の原因になります。
- ⑦ センサーは精密機器ですので、乱暴に扱わずにきちんと保管してください。

## 6.問題と解決策

問題	原因の可能性	解決策
センサーからのデータがありません。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.センサーが識別されていない。</li> <li>2.センサーとノードが正しく接続されていない。</li> <li>3.ケーブルやセンサーの不良。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.ノードを再起動します。</li> <li>2.センサーのコネクターを一旦外して、再度接続します。</li> <li>3.交換や修理をご希望の場合は、テクサーにご連絡ください。</li> </ol>
センサーからのデータが異常。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.正しく取り付けられていない。</li> <li>2.センサープローブに異物が付着している。</li> <li>3.センサーの故障。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.上記の方法でセンサーを取り付けてください。</li> <li>2.センサーの表面を清掃してください。</li> <li>3. 交換や修理をご希望の場合は、テクサーにご連絡ください。</li> </ol>





709, Building 2, Xunmei Technology Plaza,

Nanshan District, Shenzhen

[www.nongbotech.com](http://www.nongbotech.com)

+86 (0) 755-36309585

日本総代理店

株式会社テクサー

〒105-0013 東京都港区芝 2 丁目 5-19 ITO ビル 5

階 TEL:03-6803-4317 FAX:03-6803-4318

[www.techsor.co.jp](http://www.techsor.co.jp) | [support@techsor.co.jp](mailto:support@techsor.co.jp)

ZETA アライアンス

[www.zeta-alliance.org](http://www.zeta-alliance.org) | [info@zeta-alliance.jp](mailto:info@zeta-alliance.jp)